

- (3) 県負担・補助率の考え方
地域医療介護総合確保基金

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,000	看護人材のキャリアアップ、質向上のための研修の企画・運営
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
 - I - 2 地域医療の体制と医師・看護職員を確保する
 - ・医師・看護職員を確保する
- ・保健医療計画
 - 4 - 4 保健医療従事者の確保・養成
 - ・看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

(2) 後年度の財政負担

地域医療介護総合確保基金

(3) 事業主体及びその妥当性

看護人材現任者研修事業は、看護人材の質確保のために必要な施策であり、長期構想でも位置づけた県の役割であるため、主催者として研修会を実施することは妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県内の看護人材の質の向上、維持のためには職務に対するモチベーション維持が必要であり、キャリアアップの機会を継続的に提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
研修受講者数	/	211人	320人	320人	320人	65.9%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	看護教員及び実習指導者等の教育担当者、准看護師について研修会を開催した。 教員及び実習指導者等教育者 4回 93人（定員160人） 高齢者施設等に勤務する准看護師 4回 受講者118人（定員120人）
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	県内の看護人材の質の向上、維持のためには職務に対するモチベーション維持が必要であり、キャリアアップの機会を継続的に提供する事業の必要性は高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	受講者からは、日ごろの教育活動に役立つ内容であったとの評価を得ているが、新型コロナウイルス感染症の影響による定員の縮小等により、達成率は低い。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	令和3年度の看護教育者等継続教育研修事業の実施団体に委託することで、効率的に実施できる。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より良い内容とするためには、学習した内容の実践状況の把握や課題解決へのフォローが必要。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和3年度より助産師の実践能力向上のため研修を実施し、専門性を発揮することで、地域社会に広く貢献することが可能である。また、助産師の実践能力を向上することで助産師のモチベーションの維持や自信につながり、助産師の人材確保につながる。研修終了後のアンケートを参考に、効果を検証しながら継続を検討する。
